

平成 29 年度 公益財団法人こころすこやか財団 事業報告書
～目 次～

◆公益財団法人 こころすこやか財団の運営

理事会・評議員会の開催

◆公益事業 1：障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業

(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

- 一般相談支援事業/地域活動支援センター I 型事業/指定地域相談支援事業
 - 地域生活支援センター・特定相談支援事業所 青明舎
- 障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）/青森県障害者就業・生活支援事業
 - 障害者就業・生活支援センターみさわ
- 指定共同生活援助事業
 - こころすこやか財団グループホーム あおば・あおめ・あおぞら・あおみ
 - グループホーム青風荘
- 指定自立訓練（生活訓練）事業/宿泊型自立訓練事業
 - 障害者生活訓練施設青山荘
- 指定障害者就労移行支援事業（未実施）
 - 事業所名未定
- 八戸市在宅介護センター推進事業
 - 在宅介護支援センターたえみ
- 指定（介護予防）認知症対応型通所介護事業
 - 結び家
- 指定居宅介護支援事業
 - ケアプランセンターまゆすい
- 認知症事例検討会
- メンタルヘルス事業

(2) 障害者・高齢者・認知症者に関する普及啓発事業

- 障害者の作品展示
- 障害者・高齢者・認知症者の福祉に関する研修会、講演会、イベントの開催
- 高齢者・認知症者を対象とした介護予防等に関する講習会、健康教室等の開催
- 法人後見の実施及び成年後見制度利用に関する支援
- 県市町村その他関係機関に対するもの忘れ検診機器の貸し出しと講師派遣
- 関係団体と連携した認知症者の屋外徘徊を想定した模擬訓練の実施

◆収益事業 1

自動販売機等の設置及び不動産貸付事業

理事会・評議員会

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

精神疾患及び精神障害の予防並びに治療に係る研究に関する活動と、障害者や高齢者の社会生活全般に関する支援活動を行うとともに、心の健康を普遍化して偏見をなくした心豊かな社会づくりを目指すため、適正な法人の運営を行った。

【報告項目】

- ①理事会の開催
- ②定時評議員会・臨時評議員会の開催

【報告内容】

- ①理事会の開催

理事会を 4 回開催した

	開催日	議案
第 1 回理事会	6 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 28 年度 事業報告について承認を受ける件 ● 平成 28 年度 決算報告について承認を受ける件 ● 平成 29 年度 定時評議員会の招集について承認を受ける件
第 2 回理事会	5 月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> ● グループホームあおめ新築工事及び資金借入について承認を受ける件
第 3 回理事会 (省略)	12 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> ● グループホームあおぞら、あおみ防火設備工事に係る入札参加業者の選定について
第 4 回理事会	3 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 30 年度事業計画(案)について承認を受ける件 ● 平成 30 年度収支予算(案)について承認を受ける件 ● 平成 30 年度資金調達及び設備投資の見込みについて承認を受ける件 ● 平成 30 年度役員等関連取引について承認を受ける件 ● 平成 29 年度第 2 回臨時評議員会の招集について

- ②定時評議員会・臨時評議員会の開催

定時評議員会の他、臨時評議員会を 2 回開催した

	開催日	議案
定時評議員会	6 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 28 年度事業報告について意見具申と承認を受ける件 ● 平成 28 年度決算報告について意見具申と承認を受ける件
第 2 回 臨時評議員会	3 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 30 年度事業計画案について意見具申と承認を受ける件 ● 平成 30 年度収支予算案について試験具申と承認を受ける件 ● 平成 29 年度補正予算案について承認を受ける件 ● 平成 30 年度資金調達及び設備投資の見込み書類について意見具申と承認を受ける件

◆地域生活支援センター青明舎

報告担当者 センター長 森 富茂子

【報告概要】

障害者及び家族からの来所相談・電話相談・訪問相談を行い、生活全般・医療・日常生活上の悩み事等へ、必要な情報の提供及び助言、解決を講じ、関わる機関との連絡調整やケース検討を行うことで解決に努めた。また、他事業所に情報提供や助言を行う機会もあり、八戸市においては、障がい者相談支援事業者連絡会議の運営に携わり、委託を受ける事業所としての役割を担った。医療・福祉機関、地域住民、公的機関からの相談をされることも多く、各障害特性別の対応を心掛けた。また、在宅の障害者の社会参加を目指し、当センター活動室において、創作的活動の機会の提供、地域社会との交流の促進を図り、障害者・ボランティア・家族・地域住民が気軽に立ち寄れる環境作りを行った。そしてこれらを実施することで、障害者がより円滑に地域生活を送ることができるように支援することを目的として事業を行った。

【報告項目】

- ①相談支援事業
- ②地域活動支援センターⅠ型事業
- ③指定特定相談支援事業（サービス利用支援・継続利用支援）
- ④指定地域相談支援事業（地域移行支援・地域定着支援）

【報告内容】

①相談支援事業

1) 相談支援事業

訪問、来所相談、電話相談にて以下の相談に応じた。

- ・福祉サービスの利用援助に関する事
- ・社会資源を活用するための支援に関する事
- ・社会生活力を高めるための支援に関する事
- ・ピアカウンセリングに関する事
- ・権利擁護のために必要な援助に関する事
- ・専門機関の紹介に関する事

必要に応じて、同行や関係機関との連絡調整、個別ケア会議を実施した。

委託市町村へ、毎月実績報告書を提出した。

月	行動報告	
	支援内容	年間延べ利用件数
随時	訪問	303 件
	来所相談	2,448 件
	同行	24 件
	電話相談	829 件
	関係機関との連絡調整	857 件
	個別ケア会議	3 件
	訪問、来所、同行、電話相談等の対応	

2) 相談支援機能強化事業

相談支援機能の強化を図るため、一般的な相談支援事業に加え、相談支援事業が適切かつ円滑に実施されるよう、相談支援事業者に対する専門的指導、助言を行った。

新郷村では出張相談会を開き、青明舎まで来所が難しい地域の方の相談を受け付ける機会を設けた。

月	行動報告
随時	必要に応じ、相談支援事業者に対する専門的指導、助言を行う。
新郷村 出張相談会	6月、9月、12月、3月実施

3) 地域自立支援協議会（個別ケア会議）への参加

月	行動報告
7月6日 9月26日 10月19日 12月18日	八戸市障がい者相談支援事業者連絡会議事務局会議
7月28日 9月26日 11月29日 1月15日	八戸市障がい者相談支援事業者連絡会議
7月20日 9月28日	八戸市障がい者就労支援団体ネットワーク化会議

4) 入居等支援事業

賃貸契約による一般住居を希望しているが保証人がいない等の理由により入居が困難な方、各市町村が運営する住宅入居者に、必要な調整等の支援を行った。

月	行動報告
随時	関係機関との連絡・調整、地域生活の支援、緊急時の対応・支援 ※登録者：10名 ※年間延べ利用件数：129件

5) 成年後見制度利用支援事業

成年後見制度の利用が認められる知的障害者又は精神障害者に対し、申立て等について、各市町村と連携を取りながら支援するが、対象者がおらず実施しなかった。

②地域活動支援センター I 型事業

1) プログラム活動の企画・運営

活動室を開放し、社会生活に必要なスキルの維持・向上を図るプログラムを実施。

月	行動報告
4月	年間活動スケジュールの作成
毎月	プログラム活動月間予定表の作成
通年	活動室の開放、メンテナンス

2) 余暇活動（行事、イベント）の企画・運営

生活のしづらさを感じやすい障害者や、引きこもり等、既存の社会資源を利用できない層の相談窓口となり、障害者と地域社会の交流を図った。

月	行動報告	参加数
4月	活動室年間スケジュールの作成	
5月	達者村ぼたん祭り	4名
6月	八戸ローズガーデンツアー	4名
7月	すこやか祭り(本部)	雨天の為中止
8月	南部町桃狩り	11名
9月	焼き肉ランチ	6名
10月	南部町ぶどう狩り	9名
10月	わくわく動物園ツアー	4名
11月	チヂミ作り教室	8名
12月	もちつき大会(本部)	24名
1月	正月イベント	10名
2月	手作りパン教室	9名
3月	プラネタリウム鑑賞会	8名

3) 障害者サポーター養成、障害に対する理解促進を図る為の普及啓発活動

医療・福祉及び地域の社会的基盤との連携強化のための調整、障害者サポーター育成、障害に対する理解促進を図る為の普及啓発活動の事業を実施した。

月	行動報告
4月	年間活動スケジュールの作成、障害者サポーター登録、サポーターデータ管理表作成
12月6日	八戸学院大学にてサポーター養成講座実施。※参加者7名

4) ライフサポート

日常生活の支援、日常的な相談への対応、日常生活の質の向上と問題解決のための援助及び情報提供を実施。

月	行動報告	
4月	定期訪問者 訪問スケジュール作成	
随時	訪問、来所、同行、電話相談等の対応、定期訪問	
通年	入浴、洗濯、インターネット、食事作り、緊急時対応(オンコール)	
	支援内容	年間延べ利用件数
	入浴	183件
	洗濯	51件
	インターネット	48件
	食事作り	101件
	夜間電話	322件

③指定特定相談支援事業

サービス利用計画・障害児支援利用計画案等の作成、事業者との連絡調整及びサービス等の利用状況の検証を行い計画の見直しを行った。

月	行動報告
随時	相談支援・サービス利用計画作成・サービス担当者会議実施・モニタリング実施・作成料請求業務

登録者数・実績表

月	新規(利用支援)	継続(継続支援)	新規登録者数
4月	8名	21名	2名
5月	4名	27名	0名
6月	5名	24名	2名
7月	2名	22名	0名
8月	2名	14名	1名
9月	3名	22名	2名
10月	5名	6名	1名
11月	3名	10名	0名
12月	5名	10名	1名
1月	10名	9名	2名
2月	11名	14名	2名
3月	6名	17名	1名
合計	64名	196名	14名

④指定地域相談支援事業

1) 地域移行支援

障害者支援施設等に入所している方や精神科病院に入院している方に対して、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談に応じた。

月	行動報告
随時	<ul style="list-style-type: none"> ・住居確保その他の地域生活に移行するための支援に関する相談 ・地域生活への移行のための外出時の同行 ・障害福祉サービスの体験利用 ・体験宿泊 ・地域移行支援計画の作成 ※登録者：1名 ※年間延べ利用件数：11件

2) 地域定着支援

居宅において单身等の状況において生活する障害者等に対して、当該障害者等との常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等において相談に応じた。29年度登録者は1名。

◆障害者就業・生活支援センターみさわ

報告担当者 センター長 坂下優子

【報告概要】

就職を希望する障害者、職場不適合により離職した障害者や離職のおそれがある在職中の障害者に対し、障害者就業・生活支援センターにおいて、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行うことにより、障害者の職業生活における自立を図ることを目的とした。また、生活支援担当職員が支援対象者の家庭等や職場を訪問し、支援対象障害者の生活上の相談等に応じ、就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活に必要な支援を行うことにより、障害者の就労継続を図ることを目的として運営した。

【報告項目】

- ① 雇用安定事業
- ② 生活支援等事業

【報告内容】

① 雇用安定事業

1) 障害者の就業支援

就職に向けた準備支援（職業準備訓練、職場実習のあっせん）、求職活動の支援、職場定着支援、事業所に対する障害者の障害特性を踏まえた雇用管理に関する助言、関係機関との連携、調整を行った。

月	行動報告
通年	職場実習場所の開拓、確保、職場実習の実施、事業所への説明、利用者への説明、短期職場実習制度の利用、求職活動支援、職場定着支援

2) 障害者の就業支援からみる生活支援 ※②生活支援等事業と連動

生活習慣の形成、健康管理、金銭管理等の日常生活の自己管理に関する助言、地域生活、生活設計に関する助言、関係機関との連携、調整を行った。

月	行動報告
通年	家庭・職場・実習先への訪問巡回、職場定着支援、利用登録の意志確認、在職者交流会

3) 目標件数の達成状況

目標件数設定項目	平成29年度目標値	平成29年度達成値	達成率
支援対象障害者数(人)	300人	322人	107%
障害者に対する相談・支援件数(件)	3,000件	3,026件	101%
職業準備訓練及び職場実習のあっせん件数(件)	25件	25件	100%
就職件数(件)	35件	37件	105%

4) 各関係機関との連携、情報交換、報告

事業が円滑かつ効果的に行われるように関係機関と連絡を密にし、連携体制を構築した。

月	行動報告
4月26日	第1回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
6月15日	第1回障害者就業・生活支援センターみさわ事業連絡会議実施

6月23日	三沢地区障がい者就労支援連絡会総会参加
7月1日	第1回在職者交流会実施
7月18日	センターみさわ登録説明(七戸養護学校)
7月21日	進路講話会(青森第二高等養護学校)参加
7月26日	上北地区特別支援連携協議会参加
7月28日~	四者面談(青森第二高等養護学校)参加
8月25日	第2回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
8月28日	ジョブコーチ推進協議会
9月2日	第2回在職者交流会実施
10月18日	障害者就職面接会後援、参加
11月30日	第2回障害者就業・生活支援センターみさわ事業連絡会議実施
12月2日	第3回在職者交流会実施
12月15日	第3回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
1月18日	十和田ハローワーク 障害者就職ミニ相談会 共催
2月9日	三沢ハローワーク 障害者就職ミニ相談会 共催
2月16日	第4回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
3月3日	第4回在職者交流会実施
3月6日	青森県発達障害者支援センタードアーズ連携協議会
3月14日	企業セミナー開催
3月19日	農福連携推進協議会
3月随時	移行支援会議(七戸、青森第二高等養護学校)参加
適宜	県内各障害者就業・生活支援センター事業連絡会議参加 特別支援学校生徒、企業実習の巡回協力実施 ハローワークとのチーム支援会議実施 三沢市障害福祉計画策定委員会
毎月	地域自立支援協議会(三沢市・十和田市)参加

5) 啓発活動

月	行動報告
2月3日	第7回上十三地区障害者就労支援セミナー後援
10月5日	ステップアップ講座

② 生活支援等事業

1) 日常生活の自己管理に関する指導・助言

月	行動報告
随時	生活習慣の形成や日常生活の自己管理のための助言 健康管理や金銭管理等に関する指導・助言 保健医療機関、生活支援サービス利用の支援を実施

2) 地域生活に関する指導・助言

月	行動報告
随時	住居の確保や年金などの申請に関して助言 活用できる福祉サービスの利用調整を実施 就業後や休日における余暇活動について助言

3) 生活設計に関する指導・助言

月	行動報告
随時	長期的な視野での生活設計等について指導・助言 本人の自己選択・自己決定に関する助言

公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らさせる地域づくり事業
(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

- 4) 家族、知人との関係の調整や緊急時の対応等の支援を行った。
- 5) その他就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活に必要な支援を行った。

◆ ころすこやか財団グループホーム

報告担当者 管理者 森 富茂子

【報告概要】

障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業「外部サービス利用型共同生活援助事業」の適切な運営と、利用者が地域において共同して自立した日常生活及び社会生活を営む事ができるよう援助し、障害者の福祉の増進を図った。

【報告項目】

- ① ころすこやか財団グループホームの運営
 「あおぞら（定員：女性7名）」「あおば（定員：男性5名）」「あおめ（定員：男性6名）」
 「あおみ（定員：男性7名）」
 - 1) 個別支援計画の作成及び提供
 - 2) 関係機関との情報共有及び連携
 - 3) 生活の質の向上及び健康の維持
 - 4) 訓練等給付費請求・受領業務
 - 5) 生活費等の出納管理
 - 6) 訓練等給付の支給決定内容の管理
 - 7) 外部サービス利用時の連絡調整
 - 8) 年間利用者状況
- ② グループホームの移転
 - 1) 土地取得と建物建設

【報告内容】

- ① ころすこやか財団グループホームの運営
 - 1) 個別支援計画の作成及び提供
 利用者の意向、適正、障害の特性を踏まえた個別支援計画を作成し提供するとともに、断続的な評価を実施し適切かつ効果的な援助を提供した。

実施月日	実施内容
適宜	アセスメント
適宜	個別支援計画の評価・個別支援計画の作成検討会議
適宜	個別支援計画の作成と同意・提供

- 2) 関係機関との情報共有及び連携
 利用者の意思及び人格を尊重し利用者の立場に立ったサービスの提供と、医療、関係機関、家族との連携、調整を行なった。

実施月日	実施内容
随時	通院の同行、関係機関への同行 家族との連絡、情報交換 サービス担当者会議・ケア会議の実施、参加

- 3) 生活の質の向上及び健康維持
 生活の質の向上と健康維持の為に援助を提供した。

実施月日	実施内容
H29年5月28日 H29年10月22日	日中想定通報・避難訓練 夜間想定避難訓練
随時	服薬管理・健康管理・生活相談

	建物管理・設備管理・環境整備・大掃除支援等
H29年8月6日	電車バス外出・外食同行(4名)
H29年11月11日	バス外出・買物同行(2名)
H30年2月18日	バス外出・外食会(8名)

- 4) 訓練等給付費請求・受領業務
サービス費等請求業務及びサービス費等代理受領業務

実施月日	行動計画
毎月	利用料金の徴収 国保連への請求及び代理受領 会計に関する諸記録の整備

- 5) 生活費等の出納管理
家賃、水光熱費、その他日常に要する費用に関する金銭管理を行った。

実施月日	実施内容
毎月2日	利用料金の徴収・返金 会計に関する諸記録の整備

- 6) 訓練等給付の支給決定内容の管理

実施月日	行動計画
随時	訓練給付サービス支給更新手続き 利用者負担上限額更新手続き

- 7) 外部サービス利用時の連絡調整

実施月日	行動計画
随時	個別支援計画に基づいた居宅介護支援事業所への依頼 及び連絡調整 関係機関への情報提供等

- 8) 年間利用者状況

(利用者数は毎月末現在)

単位：人

月	あおぞら 定員7名 (女)			あおば 定員5名 (男)			あおめ 定員6名 (男)			あおみ 定員7名 (男)		
	入	退	現在数	入	退	現在数	入	退	現在数	入	退	現在数
H29.4月	0	0	5	0	0	5	0	1	5	1	0	7
5月	0	0	5	0	0	5	0	0	5	0	0	7
6月	0	0	5	0	0	5	0	0	5	0	0	7
7月	0	0	5	0	0	5	0	0	5	0	0	7
8月	1	0	6	0	1	4	0	0	5	0	0	7
9月	0	0	6	0	0	4	0	0	5	0	0	7
10月	0	0	6	0	0	4	0	0	5	0	0	7
11月	0	0	6	0	0	4	0	0	5	0	0	7
12月	0	0	6	0	0	4	0	0	5	0	0	7
H30.1月	0	0	6	0	0	4	0	0	5	0	0	7
2月	0	0	6	0	0	4	0	0	5	0	0	7
3月	0	0	6	0	0	4	0	0	5	0	0	7
延利用者数 計	1	0	68	0	1	52	0	1	60	1	0	84

②グループホームの移転

- 1) 現在のあおみを移転する目的で、土地（八戸市田面木赤坂 39-7）を取得し、10名定員のグループホームを建設中。

◆グループホーム青風荘

報告担当者 施設長 高橋昭徳

【報告概要】

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業「介護サービス包括型共同生活援助事業」の適切な運営と、利用者が地域において共同で自立した日常生活または社会生活を営む事ができるよう日常生活上において必要となる援助を行い、生活能力の低下防止と生活の質の向上・自立の促進を図った。

【報告項目】

- ① グループホーム青風荘の運営（定員 20 名）
 - 1) 日常生活上の支援全般、相談、連絡調整
 - 2) 個別支援計画の作成、ケアマネジメントの実施
 - 3) 関係機関との情報共有及び連携
 - 4) 健康管理
 - 5) 非常災害対策
 - 6) 利用者負担金及び生活費等の出納管理
 - 7) 介護給付費請求・受領業務
 - 8) 訓練等給付費の支給決定内容の管理
 - 9) 余暇活動支援
 - 10) 年間利用者状況

【報告内容】

- ① グループホーム青風荘の運営
 - 1) 日常生活上の支援全般、相談、連絡調整
 - 1日を通して日常生活の質の向上・維持の為、利用者の意向を踏まえ、日常生活に必要なサービス（家事・相談・助言等）を24時間体制で提供した。

実施月日	実施内容
通年	夜間における排泄の介助や見守り 入浴・食事等の支援、洗濯及び掃除・買物等の身の回りや家事全般に関する相談や援助 公共機関利用の支援
随時	支援会議の実施

日中活動の場等関係機関との連絡・調整

実施月日	実施内容
毎週・月～土	通所リハビリテーション青陽館、障害者生活訓練施設青山荘スタッフとの情報共有、及びプログラム参加の支援
随時	ケア会議への参加

- 2) 個別支援計画の作成・ケアマネジメントの実施
 - 利用者・家族の現状やニーズなどを把握するためにアセスメント及びモニタリングを実施し、個別支援計画を作成し、それに基づいて適切なサービスを提供した。

実施月日	実施内容
随時（6ヶ月以内）	個別支援計画書の作成及び更新 個別支援計画作成検討会議

3) 関係機関との情報共有及び連携

実施月日	実施内容
H29年6月	苦情処理における第三者委員会の開催
適宜	外来受診時における利用者の身体・精神状況の情報提供及び同行支援 家族との連絡・面談及び情報交換 ケア会議への参加

4) 健康管理

定期検診の実施

実施月日	実施内容
朝・夕(毎日)	対象者のバイタル測定
毎月	糖尿病者対象(1名)～血糖検査
H29年8月	頭部CT検査(20名)
H30年1月	胸部X-P(一般者20名)
H29年9月	定期採血(一般セット20名)
H29年11月	インフルエンザ予防接種(20名)

5) 非常災害対策

実施月日	実施内容
H29年5月	避難誘導訓練(日中想定)
H29年6月	避難誘導訓練(夜間想定)
H29年11月	避難誘導訓練(夜間想定)
毎月	消防用設備の自主点検
年度末	消防用設備等点検結果報告書・点検記録表・自主点検の提出

6) 利用者負担金及び生活費等の金銭管理

利用者負担額等の請求・利用料等の受領業務

実施月日	実施内容
毎月	利用料の徴収・返金 会計に関する諸記録の整備

7) 介護給付費請求・受領業務

サービス費等請求業務及びサービス費等法定代理受領業務

実施月日	実施内容
毎月	国保連への請求・受領 会計に関する諸記録の整備

8) 訓練等給付費の支給決定内容の管理

月	行動計画
随時	訓練給付サービス支給量更新手続き 利用者負担上限額更新手続き

9) 余暇活動支援

レクリエーションの実施

月	行動計画
4月	花見ドライブ
5月	誕生会・昼食会
6月	昼食会
7月	昼食会

公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らさせる地域づくり事業
 (1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

	特別昼食会
8月	誕生会・昼食会
9月	外出レクリエーション・昼食会
10月	昼食会
11月	誕生会・昼食会
12月	クリスマス忘年会（施設内）・昼食会
H29年1月	新年会（施設内）
3月	誕生会

10) 年間利用者状況（利用者数は毎月末日現在）

月	各月在所人数			入 所			退 所		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H29.4月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
5月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
6月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
7月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
8月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
9月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
10月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
11月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
12月	9	10	19	0	0	0	1	0	1
H30.1月	9	10	19	0	0	0	0	0	0
2月	9	10	19	0	0	0	0	0	0
3月	9	10	19	0	0	0	0	0	0
計	116	120	236	0	0	0	1	0	1

◆障害者生活訓練施設 青山荘

報告担当者 管理者 高橋 昭徳

【報告概要】

障害者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、生活能力の維持・向上を目的に、食事や日常生活全般に関わる必要な生活訓練を行った。また、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供、地域連携に努めた。

【報告項目】

①障害者生活訓練施設青山荘の運営

(通所型生活訓練 定員 20 名 宿泊型生活訓練 定員 20 名)

- 1) 個別支援計画の作成、モニタリングの実施
- 2) 社会生活力を高めるためのプログラムを実施
- 3) 運営に関する会議
- 4) 関係機関との情報共有、及び連携
- 5) 生活の質の向上・維持
- 6) 生活費等の金銭管理
- 7) 訓練等給付費の請求及び受領業務
- 8) 年間利用者状況

【報告内容】

① 障害者生活訓練施設 青山荘の運営

1) 個別支援計画の作成、モニタリングの実施

利用者の置かれている環境及び日常生活全般の状況等を通じて、利用者及びその家族が希望する生活や課題を明らかにし、適切な支援内容の把握に基づき達成目標を設定し、サービス担当者会議を経て個別支援計画を作成した。個別支援計画書作成後、3ヶ月に1回以上定期的に個別支援計画実施状況の把握を行い必要に応じて個別支援計画の変更を行った。

実施月日	実施内容
随時	アセスメントの実施、個別支援計画の作成 モニタリングの実施（3ヶ月に1回以上）、個別支援計画の見直し

2) 社会生活力を高めるためのプログラムを実施

- ◆ 健康管理
- ◆ 食生活
- ◆ セルフケア（保清）
- ◆ 生活リズム
- ◆ 安全・危機管理
- ◆ 金銭管理
- ◆ すまい
- ◆ 掃除・整理
- ◆ 買い物
- ◆ 服装
- ◆ コミュニケーション
- ◆ 外出・余暇支援
- ◆ 運動

実施月日	実施内容
毎月20日	翌月のプログラム予定表を作成
毎日	各利用者に合わせて集団・個別プログラムを実施

H29.6、7、10月 H30.1月	公共交通機関を利用し外出プログラムを実施。
-----------------------	-----------------------

3) 運営に関する会議
利用者に関する情報の共有、連絡事項、支援内容の見直しなどについて会議内で検討した。

実施月日	実施内容
毎週	利用者に関する情報・連絡事項・支援内容の見直し等について所内会議を行った

4) 関係機関との情報共有、及び連携
利用者の意志及び人格を尊重し利用者の立場に立ったサービスの提供、及び医療、関係機関、家族との密接な連携を図った。

実施月日	実施内容
適宜	必要に応じて関係機関・家族への情報提供（家族交流会）、ケア会議の招集、ケア会議への参加

5) 生活の質の向上・維持

実施月日	実施内容
毎月	苦情処理委員会の開催
H29.7月・H30.3月	避難訓練（消防計画・報告書の提出）
6月・9月 12月・3月	消防用設備の自主点検実施（自主点検は3ヶ月に1回実施。29年度分の消防用設備等点検結果報告書・点検記録表・自主点検票をH30年4月に消防署へ提出）

6) 生活費等の金銭管理

利用者・家族の希望に応じて生活費等の金銭管理等を行った。

実施月日	実施内容
適宜	新規利用者へ金銭管理方法を確認 事業所で通帳・印鑑・現金等を預かる際は、預かり証にサインを いただいてから預かった

7) 訓練等給付費の請求及び受領業務

毎月サービス利用費等を国保連へ請求する。また国保連よりサービス利用費の代理受領業務を行った。

実施月日	実施内容
毎月	サービス利用費等を国保連へ請求

8) 年間利用者状況

I. 「宿泊型」（利用者数は毎月末現在）

単位：人

月	各月訓練利用者数 (登録者数)			新規訓練利用者数			訓練修了者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H29.4月	9	2	11	1	0	1	0	0	0
5月	9	2	11	0	0	0	0	0	0
6月	9	3	12	0	1	1	0	0	0
7月	10	5	15	1	2	3	1	0	1

公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らさせる地域づくり事業
 (1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

8月	10	5	15	1	0	1	1	1	2
9月	9	4	13	0	0	0	0	0	0
10月	9	4	13	0	0	0	0	0	0
11月	9	4	13	0	0	0	0	0	0
12月	10	4	14	1	0	1	0	1	1
H30.1月	10	3	13	0	0	0	1	0	1
2月	10	3	13	1	0	1	1	0	1
3月	10	3	13	0	0	0	0	0	0
計	114	42	156	5	3	8	4	2	6
年間平均利用数			13						

II. 「通所型」(利用者数は毎月末現在)

単位：人

月	各月訓練利用者数 (登録者数)			新規訓練利用者			訓練終了者		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H29.4月	8	3	11	0	0	0	0	0	0
5月	8	3	11	0	0	0	0	1	1
6月	8	4	12	0	1	1	0	0	0
7月	9	4	13	1	1	2	1	0	1
8月	9	4	13	1	0	1	1	1	2
9月	8	3	11	0	0	0	0	0	0
10月	8	3	11	0	0	0	0	0	0
11月	8	3	11	0	0	0	0	0	0
12月	9	3	12	1	0	1	0	1	1
H30.1月	9	2	11	0	0	0	1	0	1
2月	9	2	11	1	0	1	0	0	0
3月	9	2	11	0	0	0	0	0	0
計	102	36	138	4	2	6	3	3	6
年間平均利用数			11.5						

◆障害者就労移行支援事業

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業「就労移行支援事業」において、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、生活能力の維持・向上、また社会経済活動への参加のための就労訓練を行い、社会参加を促進すると共に障害者の自立した生活を助長するため障害者就労移行支援事業所の立ち上げに関する検討を行う予定としていたが、未検討となった。

【報告項目】

- ① 障害者就労移行支援事業所の立ち上げ準備

【報告内容】

- ① 障害者就労移行支援事業所の立ち上げ準備
設置場所の検討、立ち上げスケジュールの作成、立ち上げ時期の検討を実施予定としていたが、グループホーム新築等により検討できなかった。

◆在宅介護支援センターたえみ（多笑）

報告担当者 小笠原 裕美子

【事業報告】

地域の高齢者世帯、独居、または要介護状態となるおそれのある高齢者又はその家族等に対して、在宅介護等に関する総合的な相談に応じ、家族の介護等に関するニーズに対応した各種の保健、医療、福祉サービス(介護保険を含む)が総合的に受けられるよう各関係機関との連携を図り、常に最適な援助が利用できるよう支援を行った。また、地域の高齢者見守りネットワークを構築し、高齢者福祉の増進を図る事を目的とし事業を行った。

【報告項目】

- ① 高齢者実態把握及び普及啓発支援
- ② 介護予防教室
- ③ 高齢者見守りネットワーク
- ④ ボランティア育成・活用

【報告内容】

① 高齢者実態把握及び普及啓発支援

1) 担当地区の高齢者に対し、心身・その他についての生活状況の把握を行った。

地区	実施内容
田面木	111名
館	81名
豊崎	48名
合計	240名
延べ訪問者数	335名

2) 民生児童委員定例会議への参加し、担当地区（田面木、館、豊崎）民生児童委員と地域住民の情報交換を行った。

月	実施内容	計
毎月第2土曜日	田面木地区民生児童委員定例会議出席	10回
毎月10日	館地区民生児童委員定例会議出席	9回
	合計	19回

3) 高齢者サロン等の地区行事に参加し、介護予防に関する普及啓発や関係機関との連携を図った。

地区	参加内容	計
田面木	各町内高齢者サロン、田面木まごころネットワーク、健康づくり勉強会	15回
館	地区高齢者サロン	6回
豊崎	地区健康祭り、各町内健康教室	16回
	合計	37回

②介護予防教室事業

1) 地域住民が交流し、かつ要介護状態にならないよう介護予防教室を実施した。

地区	実施回数
田面木	13回
館	4回
豊崎	13回
合計	30回

③高齢者見守りネットワーク事業

1) 町内会・地区社協・民生委員・ほのぼの交流協力員等と連携し、独居や高齢世帯の住民が安心して暮らせる町づくりを目指し、見守りネットワークを構築した。

会議名	実施回数
上田面木地区見守りネットワーク連絡会議	3回
南田面木地区見守りネットワーク連絡会議	3回
合計	6回

④ボランティアの育成・活用事業

- 1) 地域住民を対象とし、認知症サポーター養成講座を開催した。
- 2) 介護予防教室の援助や高齢者地域見守りネットワークにおける見守り協力員としてそれぞれ活用した。

月	実施内容
H29年10月	田面木地区社会福祉協議会主催の田面木まごころネットワークのプログラムの中で認知症サポーター養成講座の開催
通年	介護予防教室開催に伴い、ボランティアの依頼
通年	見守り隊員として、地域の高齢者の見守りを実施

➤ 指定（介護予防）認知症対応型通所介護事業

● **結び家**

報告担当者 管理者 田中秀美

【事業概要】

認知症の利用者を対象にした専門的なケアを提供し、利用者が可能な限り居宅で自立した日常生活を送ることができるよう、食事や入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練や口腔機能向上サービスなどを日帰りで提供した。また自宅にこもりがちな利用者の社会的孤立感の解消や心身機能の維持回復だけでなく、家族の介護の負担軽減などを目的とし事業に取り組んだ。更に若年性認知症者の支援にも力を入れ、若年性認知症サポートセンターゆえみとして、若年性認知症者及びその家族を対象としたサロン活動を実施し、当事者の仲間作りや悩み相談、そして家族の不安や悩み等の解消及び情報交換による心理的負担を軽減することを目的として事業を行った。

【報告項目】

- ① （介護予防）認知症対応型通所介護事業の運営
- ② 若年性認知症サポートセンターゆえみ事業
- ③ スタッフ教育

【報告内容】

- ①（介護予防）認知症対応型通所介護事業の運営

(1) 通所支援事業

1) 日常生活とのつながりを意識した認知症者の自立につながるサービスを提供した。

サービス提供日：月曜日～金曜日（年末年始は除く）

月	利用者延人数	平均利用者数 (1日)	利用率 (月)	稼働率	登録者率
H29年4月	183	9.2	76.25%	90.15%	84.58%
5月	210	9.1	76.09%	95.02%	80.07%
6月	198	9.0	75.00%	95.65%	78.41%
7月	188	9.0	74.60%	97.41%	76.59%
8月	177	7.7	64.13%	87.62%	73.19%
9月	163	7.8	64.68%	95.32%	67.86%
10月	176	8.0	66.67%	97.78%	68.18%
11月	166	7.5	62.88%	95.40%	65.91%
12月	145	6.9	57.54%	91.77%	62.70%
H30年1月	132	6.3	52.38%	79.52%	65.87%
2月	144	7.2	60.00%	91.14%	65.83%
3月	170	7.7	64.39%	92.90%	69.32%
	延利用者合計	平均利用者数 (1日)	利用率 月平均	稼働率 月平均	登録者率 月平均
	2052	7.95	66.22%	92.47%	71.54%

2) 在宅生活を支えるための地域・家族交流の実施

月	実施内容
H.29/4/1～	八戸シニアはつらつポイント事業でのボランティア受入継続。
9/5～9/7	グッジョブ受け入れ（三条中学校2名）
9/18	上長地区敬老会出席
H30/1/5	上長地区新年会出席

3) 安定した収入の確保（営業関係）

広報活動：医療機関、居宅介護支援事業所等への広報活動を実施した。

月	実施内容
4～3月	ゆえみ、悠湯の里、利用者の居宅介護支援事業所
9月	市内居宅へのDM
10～1月	市内居宅へ営業
その他	外部研修、会議時の案内、営業

4) 運営推進会議

月	実施内容	参加人数
6/29	下半期事業報告、認知症について 認知症ケアパス「認知症たすけるすけ」について	6名
12/14	上半期事業報告 法人としての認知症に関わる取組について	5名

(2) 相談支援事業

認知症高齢者だけではなく、若年性認知症及び認知症を発症した障害者の相談にも積極的に応じ、適したサービスを利用できるよう情報の提供を行った。他事業所と連携を図り、認知症者本人の豊かな地域生活につながるよう支援を実施した。

月	実施内容
H28年4月	利用相談2件 家族相談1件 利用中止相談1件
5月	利用相談0件 家族相談0件 利用中止相談0件
6月	利用相談1件 家族相談0件 利用中止相談0件
7月	利用相談5件 家族相談1件 利用中止相談1件
8月	利用相談0件 家族相談1件 利用中止相談1件
9月	利用相談0件 家族相談0件 利用中止相談0件
10月	利用相談0件 家族相談0件 利用中止相談0件
11月	利用相談3件 家族相談0件 利用中止相談0件
12月	利用相談3件 家族相談1件 利用中止相談1件
H29年1月	利用相談4件 家族相談1件 利用中止相談1件
2月	利用相談1件 家族相談1件 利用中止相談0件
3月	利用相談0件 家族相談0件 利用中止相談1件
合計	利用相談19件 家族相談6件 利用中止相談6件

② 若年性認知症サポートセンターゆえみ事業

若年性認知症者及びその家族を対象としてサロン活動（すこやかサロン結喜）を月1回実施し、本人や家族の交流の場として、仲間作りや家族の精神的負担の軽減を図った。

月	実施内容	参加者数		
		家族 見学者	当事者	計
H29年4月	ふかひれたまごスープ・ご飯・アスパラとえのきの肉巻・おでん	3	3	6
5月	麻婆丼・マカロニサラダ・にら玉スープ	3	3	6
6月	冷やし中華・餃子・パイナップル・さくらんぼ	5	3	8
7月	道の駅しちのへ 外出イベント	2	2	9
8月	味噌汁・枝豆ごはん、マーボナス、きゅうりとわかめの酢の物	5	3	8
9月	味噌汁・ご飯・キャベツ塩昆布・卵豆腐・大葉と鶏ささみの春巻き	3	3	6
10月	舞茸ご飯・鶏大根・菊ときゅうりの酢の物・味噌汁	3	3	6
11月	道の駅しちのへ 外出イベント	3	2	5

12月	ビーフシチュー・ロールパン・サラダ・柿・漬物・	4	3	7
H30年1月	家族参加無く、中止となる	0	0	0
2月	焼きそば・わかめスープ、漬物、切り干し大根	1	3	8
3月	ちらし寿司、お吸い物、筑前煮、ほうれん草のごま和え	5	3	8

③ スタッフ教育

スタッフの質の向上を図る事で、サービスの質の向上につなげる。

月	形態	実施内容
4/8	勉強会	プライバシー保護、個人情報保護マニュアルについて
4/28	法人研修	障がい者施設の防犯について
5/13	勉強会	認知症者の支援と基本的姿勢、認知症の基礎知識
5/25	外部研修	ネールケアを通じた脳トレ講座（金澤）
6/10	勉強会	「前頭側頭型認知症」、食中毒感染予防対策について
6/30	法人研修	選ばれる介護事業を目指す接客研修
7/8	外部研修	シナプソロジーインストラクター更新セミナー（豊間根）
7/14	勉強会	認知症高齢者とのコミュニケーション、 「緊急やむを得ず」身体拘束を実施する場合の留意点
8/9	外部研修	青森県認知症介護基礎研修（豊間根）
8/19	勉強会	アルコール性認知症について
9/9	勉強会	元気回復行動プラン（WRAP）について
10/14	勉強会	認知症による徘徊とその対策について
10/24	外部研修	認知症対応型サービス事業管理者研修（金澤）
10/29	模擬訓練	行方不明高齢者への対応と捜索について、徘徊模擬訓練
10/31	外部研修	地域における認知症ケア研修
11/4	法人研修	障がい者芸術支援フォーラムin八戸
11/11	勉強会	入浴マニュアル、ボイラー使用方法について 事故・ヒヤリハットに伴う事故防止対策、苦情対応
11/15	事例検討会	認知症事例検討会
H30/1/14	勉強会	感染症及び食中毒の予防およびまん延の防止について
2/10	勉強会	てんかん、ノロ（嘔吐物処理について） 権利擁護について
2/16	法人研修	障害者虐待防止法の理解
3/10	勉強会	床ずれについて、介護職員の接遇の心得

◆ケアプランセンター まゆすい

報告担当者 管理者 和久井津恵子

【事業報告】

介護を必要とする方が、居宅で適切にサービスを利用できるように介護支援専門員が心身の状況や生活環境、本人及び家族の希望等に沿ってケアプランを作成し様々な介護サービス事業所との連絡・調整を行い、適切なサービスが提供されるよう計画することで、居宅で自立した生活が送れるよう支援することを目的として事業を行った。

【報告項目】

1. 居宅介護支援事業所の運営
2. サービスマネジメントシステムの確立
3. 介護支援専門員としての人材育成

【報告内容】

1. 居宅介護支援事業所の運営
 - 1) 介護（予防）給付支援サービス

①. 利用実績の管理

ケアプランの作成、介護サービス提供事業所等との連絡調整及びサービス等の利用状況の検証を行い半年ごとに計画見直しを行った。

月別ケアプラン作成件数

月	介護度 要支援	要介護 1・2	要介護 3・4・5	合計	新規	終了
29年4月	5	45	26	71	0	1
5月	6	46	26	72	0	1
6月	4	47	27	74	2	1
7月	4	46	28	74	2	1
8月	4	46	25	71	0	0
9月	4	46	23	69	1	0
10月	4	47	24	71	1	1
11月	4	44	23	67	2	0
12月	5	43	26	69	0	0
30年1月	6	44	26	70	1	3
2月	8	44	28	72	2	0
3月	6	40	27	67	2	1
合計	60	538	309	847	13	9

②. 利用者に関する支援内容を適切に記録した。

③. 認定調査委託件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2	3	6	5	6	6	4	4	2	3	2	5
合計											48

2) 運営上の透明性の確保と継続性

- ①2017年度介護サービス情報報告システム登録し情報発信を行った。
- ②在宅介護支援センターや関係機関と連携し新規利用者の獲得に繋げた。

2.サービスマネジメントシステムの確立

1) 利用者・家族の在宅生活の支援

- ①利用者が自立した生活を営むことが出来るよう十分な聞き取りを行い利用者のニーズを把握し支援を行った。
- ②退院時は情報提供し退院時は情報を得るよう医療機関との連携を行うことで利用者の支援を行った。
- ③月1回居宅会議を行い利用者の情報を共有し、担当ケアマネが不在時でも対応を行った

3.介護支援専門員としての人材育成

1) 介護支援専門員としての資質向上、専門知識、技術向上を図ることでマネジメントの質の向上を図る。

月	形態	実施内容
4/8	勉強会	個人情報マニュアル・倫理規定
4/28	法人研修	障害者施設の防犯について
5/12	勉強会	認知者への支援マニュアルについて
5/20	外部研修	コネクトエイト 「施設での看取りを安心して行うために」
6/10	勉強会	食中毒予防対策マニュアル
6/12	勉強会	AED講習会
6/30	勉強会	選ばれる介護事業所をめざす接遇研修
7/4	外部研修	薬剤師による訪問服薬支援体制強化事業合同説明会
7/8	外部研修	介護保険をめぐる最近の動き
7/15	勉強会	緊急やむを得ず身体拘束を実施する場合の留意点
7/19	事例検討会	若年性認知症への支援
8/30	外部研修	認知症初期集中支援チームについて
8/31	外部研修	八戸市ケアマネジメント事例学習会1回目
9/1	勉強会	事故防止マニュアル
9/14	外部研修	八戸市ケアマネジメント事例学習会2回目
9/15	外部研修	多職種ごちゃまぜ研修会
9/25	内部研修	医療介護連携調整実証事業に係る第1回ケアマネ協議
10/9	勉強会	緊急時の対応・防災対策感染症・食中毒のまん延防止
10/13	法人研修	元気回復行動プラン
10/23	外部研修	イライラ・ストレス解消で虐待防止
10/31	外部研修	認知症ケア研修
11/1	事例検討会	認知症事例検討会
11/4	法人研修	障害者アートを通して考えるボーダレスな社会
11/18	法人研修	第15回SGグループ研究大会
11/19	外部研修	八戸認知症フォーラム
11/19	外部研修	定期巡回型サービスの理解、地域密着型サービスの理解
12/1	外部研修	転倒予防について考える～疾患とその対策～

公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らさせる地域づくり事業
 (1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

12/9	勉強会	感染症及び食中毒のまん延の防止のための指針
12/12	財団勉強会	認定調査研修従事者現任研修
12/16	外部研修	医療と介護の多職種連携から街づくりへ
H30/1/14	勉強会	感染症及び食中毒の予防およびまん延の防止について
2/10	勉強会	権利擁護について
2/16	法人研修	障害者虐待防止法の理解
3/10	勉強会	介護職員の接遇の心得

◆認知症事例検討会

報告担当者 荒川 綾乃

【報告概要】

認知症者になってもその人らしく生活していくために、どのような支援が必要か、またどのような体制が必要かを福祉専門職事例をもとに検証し、認知症者の処遇の向上を目指した。

【報告項目】

①地域で認知症に携わっている専門職員等と、事例検討会を実施。

【報告内容】

①地域で認知症に携わっている専門職員等と事例検討会を実施。

1) 八戸市内の居宅介護支援事業所、高齢者支援事業所35施設58名が参加し、検討会を実施した。

実施日	内容	参加施設	参加者数
11月15日	事例検討会の趣旨説明、講師紹介 講義「認知症者の在宅医療の現状や、連携の重要性について」 講師：小倉和也氏 （はちのへファミリークリニック 院長） ディスカッション 「病院受診を拒否する方への支援、医療との連携について」	35施設	58名

◆メンタルヘルスに関する事業

報告担当者 松倉 典子

【報告概要】

メンタルヘルスに関する事業を通して疾病発症を未然に防ぐことで、精神疾患発症の予防・早期発見・再発防止・社会復帰等の支援をする事で、心の健康を保ち、健全な地域づくりを行う事を目的として事業を行った。

【報告項目】

- ①ストレスチェックの実施
- ②メンタルヘルスに関する研修会の開催及び講師の派遣
- ③その他のメンタルヘルスに関する事業

【報告内容】

①ストレスチェックの実施

労働安全法に基づき、ストレスチェックの実施対象となる者並びに企業及び法人等からの依頼により、ストレスチェックを実施した。

実施日	委託者	実施内容
2017年9月	医療法人青仁会	・実施及び集団分析 受検者：180名
2018年2月	社会福祉法人昭壽会	・ストレスチェック実施事前研修 2/8 14:30~15:30 ・実施及び集団分析 受験者：46名 面接指導実施：0名
2018年3月	社会福祉法人長老会	・実施及び集団分析 受検者：75名 面接指導実施：0名

◆障害者の作品展示

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

障害者の創作した美術作品を公開する場を設けた。また、その美術作品を通して、地域住民やその他の方に対し、展示作品の説明、紹介を行い、障害への理解・認識を促進するため事業を行った。

【報告項目】

- ① 障害者の作品展示
- ② 作品見学会の実施
- ③ 作品の貸し出し

【報告内容】

- ① 障害者の作品展示
 - 1) 病気の症状等の現れともいえる作品に触れる機会を設けることで、より多くの人に病気や障害についての理解を深めていただいた。
 - 2) すこやか会館での作品常設展示を実施

月	実施内容
通年	常設展示

- ② 作品見学会の実施
 - 1) 法人で行う各研修会を利用し、来場者に対して作品紹介・説明等を行なう事で、より障害者への理解を深めていただいた。
 - 2) 事前予約を受け、見学会を実施。

月	実施内容
6月8日	弘前学院大学 学生3名 保健所職員1名
7月13日	青森県立保健大学 学生4名 保健所職員1名
7月14日	青森県精神保健福祉士協会 会員11名
8月30日	社会福祉法人あーるど 4名
10月2日	NPO 法人認知症の人とみんなのサポートセンター 1名
11月4日	啓発講演会において作品公開 一般・専門職 50名
11月15日	認知症事例検討会にて作品公開 専門職 58名
12月7日	八戸学院大学 学生8名 教授1名
3月24日	全国若年認知症連絡協議会 会員3名

- ③ 作品の貸し出し
 - 1) 以下の日程で作品3品の貸し出しを実施。
 北海道・東北 アール・ブリュット展
 (主催一般社団法人あおもりインクルージョンネットワーク)
 平成29年11月29日(水) - 12月3日 青森県立美術館

◆障害者・高齢者・認知症者の福祉に関する 研修会、講演会、イベントの開催

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

障害者や高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、地域住民等の理解や協力を促進するために、イベントや講演会等を実施した。

【報告項目】

- ① 障害者、高齢者、認知症者の地域生活支援に関する研修会を開催し、地域住民、公的機関の惻隠との連携、協働による地域福祉のネットワークづくりを推進する。
- ② 高齢者・障害者を支える家族、専門職員、一般の方を対象とした講習会等の実施
- ③ 障害者、高齢者、認知症者への偏見を除去し、地域住民との交流を図るためのイベント等を開催

【報告内容】

①～③共通

障害者、高齢者、認知症者の地域生活支援に関する研修会及び障害者、高齢者を支える家族、専門職員、一般の方を対象とした講演会の実施並びに障害者、高齢者、認知症者への偏見除去・地域交流を図るためのイベント等を開催した。

1) 障害者、高齢者、認知症者を支援するための講座の実施

実施日	講演内容	対象者
6月21日	上長公民館講座「認知症について」	上長地区住民(約80名)
9月5日	認知症サポーター養成講座	太陽生命職員(約20名)
10月19日	認知症サポーター養成講座	田面木小学校4年生(42名)
10月31日	連携中枢都市圏高齢者福祉合同研修会「若年性認知症者への支援 グループワーク」	近隣市町村行政職員・福祉事業所職員(108名)
12月6日	障害者サポーター養成講座	八戸学院大学生(7名)
12月19日	三沢市認知症キャラバンフォローアップ研修	三沢市キャラバンメイト(11名)
12月21日	三戸地方保健所地域生活支援広域調整会議「地域移行支援サービスについて」	三戸地方保健所管内行政職員・医療・福祉関係者(30名)
2月14日	青森県居住支援セミナー「障がい者の福祉と居住支援について」	不動産業者・福祉関係者(45名)

2) 講演会の開催

実施月日	実施内容	参加者
11月4日	<p>◆講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「障がい者芸術フォーラムin八戸」 ・基調講演 「障がい者アートを通して考えるボーダレスな社会」 講師：須佐 尚康氏 (公益社団法人 東北障がい者芸術支援機構 代表理事) ・シンポジウム 「創作の現場から」 シンポジスト： 能澤 大輔氏 (青森県立八戸高等支援学校 教諭) 渡邊 文子氏 (青森県立八戸第二養護学校 教諭) 八木橋 誠司氏 (青森県立七戸養護学校 教諭) 亀本 廣子氏 (こどものアトリエ バオハブ) 藤沢 彩子氏 (アトリエコロル) コーディネーター： 大橋 一之氏 (青森アール・ブリュットサポートセンター) <p>※一般社団法人あおもりインクルージョンネットワーク 青森アール・ブリュットサポートセンターとの共同開催で実施</p>	<p>一般参加 35名</p> <p>スタッフ 30名</p>
3月25日	<p>◆講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「第9回 全国若年認知症フォーラムin 青森・八戸 ～暮らしと働くを支える～」 <p>※全国若年認知症家族会・支援者協議会、青森県若年性認知症自立支援ネットワーク研修が共同で開催するフォーラムに後援で参加。企画から報告までを当法人スタッフで実施したことから、第2回啓発講演会として位置付ける。詳細は青森県若年性認知症総合支援センター事業にて報告</p>	<p>一般参加 264名</p> <p>スタッフ 12名</p>

3) イベントの開催

実施月日	実施内容	参加者
7月22日	<p>◆すこやか祭り</p> <p>当法人所有の「すこやか広場」にてすこやか祭りを実施予定であったが、雨天のため中止。</p>	
12月23日	<p>◆もちつき大会</p> <p>田面木公民館を利用したもちつき大会の実施 当法人の活動紹介 地域住民、障害者、高齢者の交流の場の提供 障害者ボランティアによる運営補助</p>	<p>①一般参加 80名 ②障害者サポーター3名 ③田面木婦人会 6名 ④八戸市社協ボランティア 4名 ⑤障害者ボランティア 7名 ⑥市川ハンドベル談 13名</p>

4) 認知症フレンドシップクラブ主催の「ラン伴 2017」への参加

実施月日	実施内容
8月26日	主催：認知症フレンドシップクラブ 八戸市（結び家前）～岩手県庁（盛岡市） 認知症の人と伴に生きる社会を 目指し、認知症の人、家族、支援者、一般市民が協力しあい、1つの襷をつなぎながら、ゴールを目指すイベントに参加。 担当区間への参加チーム数8 当法人参加人数 11名

5) 八戸市主催「認知症フォーラム」への参加

実施月日	実施内容
11月19日	八戸市委託事業 受託先・認知症の人と家族の会 フォーラム企画等に参加 当法人参加人数 3名

◆介護予防

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

地域の方一人ひとりが健康維持について高い意識をもち仲間づくりをすることで、高齢者の閉じこもりを予防し、要介護状態になることを予防することを目的として事業を行う予定であったが、在宅介護支援センターたえみで行った介護予防教室のみの実施となった。

【報告項目】

- ①地域住民を対象に介護予防に繋がるプログラムを実施

【報告内容】

- ①地域住民を対象に介護予防に繋がるプログラムを実施
 - 1) 当法人で運営する在宅介護支援センターたえみで介護予防教室を実施したが、その他在宅高齢者向けの予防教室は開催に至らなかった。

成年後見制度の利用に関する支援

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

個人の尊厳を重視する権利擁護活動において、権利擁護の推進を図ることを目的とし、スタッフの後見人活動を支援した。

【報告項目】

- ① 法人スタッフの権利擁護活動を支援
- ② 成年後見制度利用相談支援

【報告内容】

- ① 法人スタッフの権利擁護活動を支援

「ぱーとなー青森」に所属する法人スタッフ 1 名の後見活動を支援した。

対象者	実施内容	登記	担当
知的障害者 女性 60歳代	後見事務	H24.12.14	松倉

- ② 成年後見制度利用相談支援

成年後見制度利用に係る相談を各相談支援機関事業所で受け付けつけることとなっていたが、どの事業所においても対象者が 0 件であった。

◆もの忘れ検診機器の貸出

報告担当者 佐々木由香理

【報告概要】

認知症の早期発見早期受診を目的として、もの忘れ検診機器の貸し出しを行うことで、もの忘れ検診をより普及した。

【報告項目】

- ① タッチパネル式もの忘れ検診機器の貸出
- ② もの忘れ検診機器の点検

【報告内容】

- ① タッチパネル式の物忘れ検診機器を市町村等へ貸出。
 延貸出台数：47台

月	実施内容			
5月	八戸市地域包括支援センター	介護予防・日常生活支援 総合事業認知機能検査	1日間	4台
7月	大鰐町	認知機能テスト	2日間	2台
	八戸市地域包括センター	介護予防・日常生活支援 総合事業認知機能検査	1日間	4台
8月	新郷村地域包括支援センター	もの忘れ検診	1日間	4台
9月	八戸市地域包括センター	介護予防・日常生活支援 総合事業認知機能検査	1日間	4台
10月	田舎館村地域包括支援センター	介護予防・日常生活支援 総合事業（短期集中予防 サービス）	1日間	2台
	六戸町地域包括支援センター	もの忘れ検診	3日間	3台
11月	東通村いきいき健康推進課	もの忘れ検診	1日間	2台
	八戸地域包括センター	介護予防・日常生活支援 総合事業認知機能検査	1日間	4台
12月	田舎館村地域包括支援センター	介護予防・日常生活支援 総合事業（短期集中予防 サービス）	1日間	2台
1月	八戸市地域包括センター	介護予防・日常生活支援 総合事業認知機能検査	1日間	4台
3月	八戸市地域包括支援センター	介護予防・日常生活支援 総合事業認知機能検査	1日間	4台

- ② タッチパネル検診機器の点検

月	実施内容
4月	タッチパネル機器とプリンタの点検

◆認知症徘徊 SOS 模擬訓練

報告担当者 小笠原 裕美子

【報告概要】

認知症になっても安心して暮らせるまちにすることが地域住民の目的であり、同じ田面木地区で活動する法人として、地域の方々と共同し徘徊 SOS 模擬訓練を行なった。模擬訓練では搜索と徘徊者への声掛けの仕方を学び、地域住民が見守りの担い手として活躍できることを目指した。

【報告項目】

- ①田面木地区で認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。
- ②田面木地区以外の地区におけるネットワークの事業紹介と啓発活動並びに立ち上げ協力、組織化への支援を実施。

【報告内容】

- ①田面木地区で認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。

1) 認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。

田面木地区社会福祉協議会、田面木地区町内会等を中心に、田面木まごころネットワークとして実施計画を立案し打ち合わせを行った。訓練当日は、平内町地域包括支援センター等からの視察もあり、92名の参加があった。

実施日	実施内容	備考
H29.6.24	田面木地区社協と事前会議日の調整	-
H29.7月	連合町内会長へ事前会議日の調整	-
H29.7.20	事前会議企画書提出	-
H29.8.28	田面木まごころネットワーク事前会議開催	参加者 28名
H29.9.19	各町内、関係施設・団体へチラシ・ポスターの配布	チラシ 120 ポスター 30
H29.9.12	講師事前打ち合わせ	-
H29.10.5	取材依頼 (5社)	当日取材 1社
H29.10.12	モデル徘徊者との事前打合わせ	4施設
H29.10.19	田面木小学校訪問	-
H29.10.23	田面木婦人会と炊き出しの打合わせ	-
H29.10.29	認知症徘徊 SOS 模擬訓練実施	参加者 92名

※取材：デーリー東北

2) 認知症サポーター養成講座の実施。

実施日	実施内容
H29.10.19	田面木小学校 4年生対象に認知症サポーター養成講座実施

- ②田面木地区以外の地区におけるネットワークの事業紹介と啓発活動ならびに立ち上げ協力、組織化への支援予定としていたが、依頼がなかったため実施しなかった。

※H29.10.8～10.9に行われた、「在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク 第23回全国の集い in はちのへ2017」にて、田面木まごころネットワークの活動について発表を行っている。

◆自動販売機等の設置及び不動産貸付事業

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

収益事業で収入を得ることにより、その収益の50パーセントを公益事業へのみなし寄付することで、公益目的事業の運営資金とするために事業を行った。

【報告項目】

- ④ 自動販売機収入
- ⑤ 公衆電話収入
- ⑥ 不動産貸付事業収入

【報告内容】

① 自動販売機収入

設置場所	実施内容
八戸市大字田面木字赤坂 14-4 地域生活支援センター青明舎前	<ul style="list-style-type: none"> • 販売機周辺の清掃 • 入金確認

② 公衆電話収入

設置場所	実施内容
八戸市大字田面木字松長根 5-4 グループホーム「あおぞら」内	<ul style="list-style-type: none"> • 集金 • 入金 • 電話機のメンテナンス
八戸市大字田面木字赤坂 26-7 グループホーム「あおめ」内	
八戸市大字田面木字赤坂 35-9 グループホーム「青風荘」内	
八戸市大字田面木字赤坂 35-35 障害者生活訓練施設「青山荘」内	

③ 不動産貸付事業収入

(1) 屋外広告用看板スペース貸出し収入

貸出場所	実施内容
八戸市大字田面木字赤坂 14-4 地域生活支援センター青明舎 建物壁面	<ul style="list-style-type: none"> • 借主（医療法人青仁会）との打合せ • 入金確認

(2) 土地の賃貸借による収入

設置場所	実施内容
八戸市大字田面木字赤坂 22-1	<ul style="list-style-type: none"> • 契約内容の確認打合せ • 入金確認 • 支払確認
八戸市大字田面木字赤坂 22-2	
八戸市大字田面木字赤坂 24-1	
八戸市大字田面木字赤坂 24-2	
八戸市大字田面木字赤坂 24-4	
八戸市大字田面木字赤坂 24-5	